

## 平成 21 年度卒業式が行われました

心配された天候も卒業生の前途を祝うように回復した春の日、  
387 名の新会員が同窓会に加わりました。



鈴鹿医療科学大学同窓会 会長 武藤裕衣

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
心よりお祝い申し上げます。

中国古典「孟子」に、「天の時」は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」という言葉があります。この言葉は、物事を成就させるために大切な 3 つの条件を示しています。組織や企業だけでなく個人にも、そして、社会人の一歩を踏み出される皆さんにも知恵を示唆してくれます。

「天の時」とはタイミングを意味します。何事をなすにも、「適時」があるということです。どんなに望んでも、春が来なければ桜は咲かないように、焦ったところで時期が来なければ、物事は成就しない。タイミングをはかれ、そのためには、周りをよく見て情報を収集せよ、ということでしょう。新たな生活の中で、皆さんには様々な出会いがあると思います。長い付き合いとなる出会いもあれば、短い出会いもある。しかし、どんな些細な出会いでも、そこから新しい道が繋がるかもしれません。ささいな偶然や出会いが重なる、すなわち、時が合えば、思う以上の結果を得ることができるでしょう。些細な出会いを大切にし、また、自分の周りでおきていることに注意を払い、チャンスを逃さないことが大切だと思います。もちろん、良くない方向に進む出会いもあるでしょうから、どの出会いを大切にするか、自分自身の判断力も必要です。

次に、「地の利」とは有利な地形、を意味します。企業や施設で言えば立地、個人なら「環境」といえるでしょう。自分自身にとって成長できる環境を作ることが大切です。もちろん、変えられない環境もありますが、なにより、自分自身が「変わろう、変えよう」と考え、自分のできることから物事を始めていくことが大切です。

最後に、「人の和」。これは、組織力、結束力を意味します。日本では古来より「和」の精神が大切にされてきました。十七条憲法(604年)の第一条には「和を以て貴しと為す」



とあります。日本だけでなく、米国の実業家フォードも、「人が集まってくることが始まりであり、人が一緒にいることで進歩があり、人が一緒に働くことが成功をもたらす」という言葉を残しています。自分ひとりではできることには限界がありますが、人と力を合わせることで、可能にもなるということでしょう。また、自分ひとりでは辛いことも、仲間とならば頑張れる、嬉しいことを何倍にも感じられるでしょう。そのために、人との出会い、人との縁を大切にするのだともいえます。ここから得られるものは、「誠実」、「献身」、「信頼」という、お金では買えない最大の満足なのではないでしょうか。

孟子は、「人の和>地の利>天の時」としています。

これから皆さん一人ひとりの立場や生活は変わっていきます。鈴鹿で共に過ごした思い出と時間を大切にすることで、鈴鹿医療科学大学で得た人の和を生かし、今後の出会いを大切にしていくことで、一人ひとりの生活が少しでも潤いのあるものになればと思います。

鈴鹿医療科学大学で得た知識や経験が、皆さんの今後の人生を充実した豊かなものにしてけると確信するとともに、大学生活で得た経験や知識を活かし、ご精進いただけますよう祈念申し上げます。